

RFワールド No.15 特集『衛星と無線 通信システム』

CQ出版社 2011年8月

福地 一



衛星通信に携わる人達にとって、有益な雑誌を手にすることができた。電波関連の特集でお馴染みの「RFワールド」のNo.15だ。必ず大学の衛星通信の授業で触れる、衛星通信技術の基礎的事項から、日本の衛星開発の歴史のなかのよもやま話など、お固い教科書ではふれにくい内容まで含んでいて、読者、とくに日本の衛星開発に少しでも関わった人たちを飽きさせない。ほとんどの内容は、宇宙通信分野では有名人である、元NEC理事で現任JEPICOの北爪 進さんの執筆である(下記、目次の第5章以外はすべて北爪さんの執筆)。NEC時代から、日本の衛星通信黎明期を身をもって体験してきた同氏ならではの大作といえよう。それも、単なる懐古録ではなく、いまだに衛星通信開発の現役として世界を飛び回り、各国の衛星通信VIPに知己をもつ北爪さんならではの、最新情報の提供と今後の展望にもその筆の冴えをうかがい知ることができる。宇宙開発の最前線に身をおいた者でしか得られない貴重な写真も多く掲載され、雑誌ではあるが保存版としての価値もある。なによりも、この北爪氏が、我々、SJRの編集委員の1人であることに身内ながら誇らしい気持ちになる。なんでも、69ページにINTELSAT IV号の国際開発チーム技術者50-60人の写真があるが、ここから北爪氏を見つけられたら本当の衛星通信技術者だという噂がある。この雑誌をお持ちの方は見つけ出してはいかがでしょうか？

この雑誌の特集の目次は以下のとおり。

イントロダクション 「衛星通信の世界へようこそ！」

- 第1章 通信衛星の概要 ー通信衛星の機能、特徴と用途、使用周波数などー
- 第2章 日本の通信衛星の開発経緯とその成果 ー技術試験衛星から実用衛星までー
- 第3章 衛星通信システムの構成 ーシステムコスト、多元接続方式、衛星間通信などー
- 第4章 衛星の基礎知識 ー姿勢安定方式、ミッション機器、追跡管制などー
- 第5章 地球局の基礎知識 ー静止衛星、非静止衛星などー
- 第6章 衛星通信の回線設計 ー回線設計例、干渉問題などー
- 第7章 将来の衛星通信への展望 ー地域サービスとグローバルサービスなどー